

三月三十一日
晴
沖大東島
勤務

情報

一 自 一〇〇〇 故測上兵長、慰靈祭、計画ニ基キ實施
 二 自 一七〇〇 被害整理、復旧陣地補強作業實施
 三 前田伍長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
 第一小隊川崎軍曹以下九名第一監視哨ニ於テ
 第二小隊本田軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ
 第三小隊日高軍曹以下二名第三監視哨ニ於テ
 夫々監視勤務ニ服ス
 四 沖地区隊情報第七九號
 本八時三十分B二四一機一八〇度ヲ侵入沖合ニ行、偵察後三六〇度
 ニ脱去ス、高度三〇〇〇、雲量四雲高二〇〇〇、視界七
 沖地区隊情報第八〇號
 一〇二〇B元一機九〇度ヲ侵入沖合ニ行、高度一〇〇〇以下二〇〇度
 ニ通過ス、雲量四雲高二〇〇〇、視界七

五 守備隊情報第三四六號

南下中、敵機動部隊ハA11ヲ基幹ニシテ共一隊ハ十八時
 北緯三元度 東經一三四度一〇分ニアリ
 守備隊情報第三四七號
 本三十一日十六時頃潮岬南方二五〇軒附近ヨリ南下中、機動
 部隊ハ相當ノ損害ヲ受ケテリトモ依然南西諸島ヲ守大東島
 守備隊ハ明早朝嚴戒ヲ要ス
 守備隊情報第三四八號
 海軍情報

一 南下中、敵機動部隊ハ二十日三時五十分N二七度二〇分E三三四
 度一〇分同三時一〇分N二九度E三三四度二〇分、N二九度一五分
 E三三四度一〇分同三時三十分、N二八度三〇分E三三度一五分
 兵力不明ナルモ本三十一日大東島方面ハ嚴戒ヲ要ス
 二 本三十一日前項、攻衛ヲ受トテ、攻衛部隊ノ未攻ハ遊キニアル

尾字

意ヲ前降

軍大ナルヲ以テ持ニ嚴重ナル警戒ヲ要ス

守備隊情電第三五〇號

一、飛行場(シタオ島)敵艦ニ包圍マシテ所任部隊ハ
交戦中ナリ

二、カシオウガ敵ハ密偵ヲ道案内トシ地理詳知。包圍攻勢巧。

三、現發地雷暴露露地。友軍又ハ傳令行動地区ニテ多數機銃ヲ要ス

(二三三戰訓)

守備隊情電第三五二號

軍通報

一、マリヤナ群島ヲ中心トスル敵ハ十七日頃ヲ以テ兵力整備及
編成ニ完了セル狀況ニアリ

二、マリヤナ群島方面若干艦船、集結三月下旬ヲ以テ一應完了
セルモノナリ

三、在中部太平洋各部隊、指揮官、通信狀況極メテ切迫シ

十六日朝来第五艦隊機動部隊攻勢部隊、各指揮官宛
重要指令電多シ

四、出雲中、敵機動部隊ト公ハ島基地太平洋艦隊司令官

第五艦隊司令官硫黄島上陸指揮官ト関連密ニシテ

マリヤナ群島硫黄島方面、哨式機ハ小笠原諸島方面ニ
最モ嚴重ニシテ南西諸島之ニ次ク

五、以上ヲ綜合スルニマリヤナ群島方面ヲ基地トスル次期、敵策動ハ
極メテ切迫シタルモノナリ

小笠原諸島方面ニ指向セル、軍
艦カラガルト南西諸島方面ニ對スル敵、大規模策動、機又

極メテ切迫シタル、軍大ナリ

守備隊情電第三五三號

一、更ニ敵機動部隊A10數艘又地點ヲニアリ

二、本十五時以降我軍機多數南大東島飛行場ヨリ離着陸ノ
予定ナリ監視上被致注意スベシ

球多情報電第五〇號

一、マリヤナ島敵、兵カハ十七日頃整備編成完了 艦船・集結モ一應、前上旬ヲ以テ完了セルモノ如シ

二、出軍中、機動部隊トシテ、カラム島其地間運送ニシテ南西諸島方面ノ連絡モ亦活潑ナリ

三、敵、次期作戦ハ切迫シテ其、指向ハ小笠原諸島等ニ大ナルモ南西諸島ニ對スル大規模策動又切迫シテ

球多情報電第五一九號

海軍情報ニ依ルニ南中、敵機動部隊ハ四群ニシテ

二日三時五分 N 27度 20分 E 134度 10分

三時五分 N 29度 E 134度 20分

N 29度 30分 E 135度 10分

三時五分 N 28度 30分 E 133度 15分 二在リ

兵力不明ニシテ依然南西諸島嚴戒ヲ要ス

作命

六、沖地区隊第十七號

三月十一日一八三〇

一、諸般情報ヲ綜合スルニ早派機動部隊ハ大東列島東方海面ヲ南中

二、五南西諸島全地区ニ空襲警報發令

三、五敵機ニ四機南大東島ニ侵入ス

本夜半ニ於ケル敵艦艇、擾亂攻撃大ナリ

四、地区隊ハ海空ヨリスル攻撃ヲ夜間擾亂射撃ニ對シテ万全ヲ期ス

五、各隊ハ対砲爆雷掩護ヲ莫後強化シ洞窟分散所ニ於テ待機アルベシ

六、通信分隊ハ器材掩護ト共ニ連絡ノ確保ニ遺憾ナキヲ期スベシ

七、更ニ兵曹長ハ監視哨ニ警備ヲ要スルヲ以テ持テ海軍ヲ準備スルベシ

八、別命ヲ限リ對空戦備内トス

九、余ハニニ高地待避隊ニ在リ

七、沖地区隊命令

一、士官 陸軍少尉 吉村信之

下士官見習 兵長 龜川傳次

日命

通信連絡事項

氣象
人員異動

各頭書、通り来週々番勤務ニ服スベシ
八球三七〇依預電第一四八號

九守備隊依預電第六三三號
球第三七八部隊長ヨリ、患者三名古日當隊ニ收容ス

洲上兵長戦死状況(要旨)无、通り上申セリ

一、敵艦砲射中、砲彈炸裂致下敵狀ハ監視中、責任重キルヲ

爲シ監視ヲ繼續シ期、失火之ヲ隊長ニ報告シ守備隊全部

行動ヲ迅速適切ナリ、積極的任務、遂行中炸裂セル砲彈

破片ハ前頭部貫通戦死ス

二、功績名簿(約)後日送附スル付陣中日誌等、記載例ナリ度

一〇、第三監視哨ニ於テ、海岸ノ状況无、如シ

風速五米—十四米、波浪五米、視界九杆

一一、本日總人員三三六名入魂五名入室三名練兵四名勤務休一名

三月二十五日
沖大東島
勤務

情報

報告

一、頭三七〇被害地整理復旧陣地補強作業實施

二、中村軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス

第一小隊杉本兵長以下九名第一監視哨ニ於テ

第二小隊増山軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ

第三小隊日高軍曹以下二名第三監視哨ニ於テ

夫々監視勤務ニ服ス

三、一三五五B二四一機、〇度—一八〇度、高度四〇〇〇米

四、守備隊情報第三六〇號

軍通報、敵ハ目下中部太平洋ニ於テ相當大規模ノ作戦企圖

シアルモノ、如シ臺灣或ハ南西諸島就中新沖繩ニ攻進ヲ指向

スル算大ニシテ其ノ時機ハ四月下旬トナルニ依リテハ三月

下旬頃ニ於テモ進攻可能性トモス、父島母島等ニ對シテ作戦

ノ皆大ニ望望戒備スルモ或ハ前記作戦以後トルノ算アリ

説明

要電

和略的ニ対日戦ニ徹底的有利ナル態勢ヲ固持スル為臺灣
南西諸島就中沖繩島ニ進攻スルノ算アリ

守備隊情電第三六二號
取三日古時鹿屋發彩雲際ニ消息ヲ絶ッ貴島田邊
上空後至急返電スヘシ

五沖地区隊情電第八三號
貴情電第三六二號 友軍機見ス

球航情電第五三二號 (本文省略)
六沖地区隊情電第九二號

貴電第三五號三項ノ件 (本文省略ス)
七沖地区隊情電第九三號

新守備隊長殿ノ官姓名ヲ問フ
著任セラレタルヤ

八第一監視哨ニ於ケル海岸状況无ク如シ

氣象

通信連絡
事項

要電

- 一 作戰規模大ニ使用可能兵力アリヤナ群島方面五乃至七師團他ニ
比島トイフ島ヨリノ抽出可能ニ乃至三師團ニテ輸送船ノヨリヤナ
群島ニ集中ノ狀況ハ硫黄島作戰前ヨリ大從来ノ例ニ徴スレバ
三師團分ノ輸送ト判断セラル
- 二 潜水艦ノ出現ハ月以降九州東南方海域南西諸島就中
沖繩島周邊及臺灣南部顯著ナリ之ニ反シ小笠原諸島
支那方面ハナシ
- 三 臺灣南部空襲及比島及ヨリヤナ群島方面ヨリル偵察
ハ最近沖繩島持ニ顯著ナリ
- 四 機動部隊ハ本三日朝沖繩島東方三五〇里附近ヲ南下中
ニシテ一連基地ニ歸投補給整備ナシ攻勢部隊ヲ伴ヒ出直
スルノ算ナラモ狀況ヨリ一部洋上補給ニ依リ強引ニ進行作戰
企圖スルトナレトモズ
- 五 米野ハ美ルバヤ「サンフランシスコ」反艦砲台會議(四月二十五日迄ニ

人員異動

三月三十日
晴
沖大東島
勤務

情報

風速七米 波浪六米 視界一五呎
九本日總員三六名入隊五名入堂三名練兵休四名勤務休一名
一 砲一七〇〇 陣地補強作業實施
二 高永伍長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
第一小隊出口伍長以下九名第一監視哨ニ於テ
第二小隊松尾軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ
第三小隊井上軍曹以下二名第三監視哨ニ於テ
夫々監視勤務ニ服ス
三 〇七三—〇七五 くらまんニ機未裝
〇七五—〇七三 くらまんニ機未裝
〇八五—〇九〇 くらまんニ機未裝
沖地区隊情電第八四號
敵機ハ三〇度ニ撃退 詳細ハ後送ス

沖地区隊情電第八五號

本〇八五三 敵くらまんニ機 〇度ヨリ侵入
銃爆密中 高度三〇〇〇リ 低空ヲ以テ攻密中
沖地区隊情電第八六號
〇八五五十二機 砲体銃爆密ヨリス 〇九一〇 二七度ニ撃退
尚南方目視外ヲ飛翔中ノ如シ 爆音ヲ聞ク
目下判明セシ戦果 速電一 稱善其 他後報ス
沖地区隊情電第八七號
本三音 敵機未裝 状況報告
是二一〇九一〇 敵機是六機未裝一〇〇 是二判明ニ隊合状況
一 第一波 〇七三—〇七二 二機
二 第二波 〇七二—〇七三 二機
三 第三波 〇八五—〇九〇 十二機
之敵多クシテ 戦斗機主トシテ 機銃砲地 地表空共ニ 攻撃中

樹皮町電波探知器ヲ先爆雷攻撃ヲ實施ス
 侵入高度二〇〇米編隊ヲ以テ目標距離二〇〇〇米近接ス
 機毎ニ逐次急降下攻撃ヲセリ敵ノ投下セル爆彈ニ四個
 三枚ノ方人員其他損傷ナシ
 我々方十三機及ヒテ先機銃ヲ以テ射撃
 戦果 敵機一機(高度三〇〇〇米、海中ニ墜落)重傷 三
 4 陸軍機ニ先機銃ニ(銃ハ海軍部隊ヨリ転用セルモノ)発射彈二〇
 海軍一機機銃六、発射彈三四七発
 5 其他参考事項
 1 日光ヲ背ルニテ急降下ス
 2 陣地及重要機関ノ破壊ヲ目的トセルモノナシ
 3 砂塵爆煙ノ為暫時目視困難
 4 敵使用爆彈ハ大型小型 両様ナリ 不発全爆率彈効能
 ヲ判断スルニ大型ハ直徑三六センチメートル以上ナリ

本隊大型爆彈ノ威力
 砂塵上ニハ直徑二センチメートル以上ノ、漏下口ノ直徑
 約五センチメートル、厚さ二センチメートル、石造ノ機殻ス
 ハ敵野営ハ一機ノ攻撃毎ニ同シ
 五 直徑三センチメートルノ 視界ノハ
 四 守備隊情報第三三六九號
 A. 含むニ一ノ三ノ機、敵機動部隊ハ十時十五分南大東島
 二六五度二八〇ノ方向ヨリ、目下海面上(海軍情報機報告)
 守備隊情報第三三三二號
 本二三日敵機ノ来襲状況
 1. 沖繩本島約三〇機飛行揚子揚子機ノ探知ス
 2. 宮古島約二〇機
 3. 南大東島約三機、今分ハ二機機動部隊ノ機ノ探知ス
 五 沖地部隊情報第十八號 五月二十一日 〇五〇〇

訓令

- 一 諸般情報、隊令ニ依リ、隊員別部隊ハ速報ヲ行ハスルコト
- 二 沖地区隊警備隊本部ニ、重要警備隊令ヲ行ハス
- 三 沖地区隊ハ敵機ハ援攻攻撃ニ付テハ万全ヲ期ス
- 四 各隊ハ村屯據守ヲ務メ、兵機強行スルコト
- 五 通信分隊ハ器材整備、連絡、確保ニ務メ、修繕ヲ行ハス
- 六 海軍砲台、偽装、掩護、警戒スルコト
- 七 別命ニ依リ、海空野戦、防トス
- 八 全ノハハ高地ニ在リ
- 九 守備隊情報第二九七號
- 一〇 守備隊長ハ十三日著任ス
- 一一 大正 四 府 廣 一 (一三六期)
- 一二 皇國、龍巻、決スル時隊長必ス又、機敏、新コト
- 一三 沖大東島守備、大任、先達スルコト
- 一四 切ニ諸官、武運長久ヲ祈ル

通信連絡

事項

七 沖地区隊情報第九七號

敵編隊機美襲、銘記スルコト即守着、報ニ傳ヒ感憤

愈々新コト、遙ニ海武運、長久ヲ祈念ス、我等一同

益々奮勵、誓ツテ本分ニ邁進セム、切ニ海指導スルコト

本日將兵持ニ志氣旺盛ナリ

沖地区隊將兵一同

氣象

人員異動

八 第二監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ヲ如シ

風速六米―三米、波浪三米、視界七軒

九 本日總員ニ二六名、入院五名、入室三名、練兵休四名、病務休一名

三月三十一日

一 洞窟待機所補強作業實施

二 日高軍曹以下七名、沖地区隊衛兵勤務ニ服ス

第三小隊 荒木中隊長以下九名、第一監視哨ニ於テ

第二小隊 高永中隊長以下九名、第二監視哨ニ於テ

情報

第三小队并上軍曹以下二名第三監視哨に於て
 天々監視勤務に服ス
 三沖地区隊情電第八九號
 本十一時五分敵大型機ラレキモノ爆音、雲上ニ開リ
 沖地区隊情電第九〇號
 三〇〇 三三〇度八杆海上ニ艦艇、光ラレキモノヲ見ル
 四守備隊情電第三七七號
 二二日一七時三〇分那覇一三〇度二四〇杆C十、同一三三度
 不詳集團同一八〇度一〇〇杆A三其他一〇同六七度一三〇杆
 A四C一其他一〇何レモ一八時四十分迄ニテ重復ス
 守備隊情電第三八一號
 十時三〇分沖繩本島南端B7、D三三目下艦砲射撃中
 守備隊情電第三八四號
 十八時四十分南大東島二四〇度二五杆六ニ艦艇感度ヲ捕捉ス

日命

五沖地区隊命令
 三月十四日
 一 陸軍 兵長 酒井定家
 三月十五日日命第一項、銀上湯勤務ヲ免ズ
 六守備隊情電第二九九號
 敵機重墜、報ニ據リ欽快ニ誌ス之ハ貴隊平素ノ戦闘
 準備、完全ト訓練、精到隊長以下鐵石トシ敵闘精神
 ヲ發揮セルニ外ナシマ 狀況愈ニ切迫セル折カラ益々奮闘ヲ祈ル
 海軍側ニモ宜シク傳ヘラレ度
 守備隊長
 支隊長
 七第三監視哨ニ於テル海岸ノ状況无ク如シ
 八本日總員三六名入院者八名重症者四名傷兵四名勤務休一名
 九員異動

通信連絡事項

氣象

人員異動

三月二十五日
晴
沖大東島
勤務

情報

一、洞窟待機所補強作業實施
 二、形本兵長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
 第一小隊 富永軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ
 第二小隊 西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ
 第三小隊 松本伍長以下二名 第三監視哨ニ於テ
 夫々監視勤務ニ服ス
 三、沖地区隊情報第九一號
 本三時十五分 三七〇度 方向、雲上ニ敵、大型機ヲ見ケモノ、
 爆音ヲ聞ク
 四、守備隊情報第三八八號
 沖繩本島 龍紀射撃十四時十五分止、艦艇依然歸投無キ
 守備隊情報第三九一號
 一、敵機動部隊ハ引續キ本日南西諸島及種子島ヲ空
 襲スルトモ、沖繩島、砲臺ス、敵BBDD8那覇一八〇度

氣象
人員異動

命令

距離五軒六時五分
 二敵水上艦艇ヨリ小型用艇艇一〇隻ニテ七時三分「慶良間」
 列島(那覇港五軒)渡嘉敷島「アキ島」「バ島」ニ上陸中
 守備隊情報第三九三號
 阿嘉島渡嘉敷島ニ上陸中、敵八十四時掃海艇七一九ヲ
 以テ那覇港港外一五軒附近ヲ綿密ニ掃海中
 五、守備隊情報第三八七號
 二十八時四分 大東島全地区 空襲警報解除
 但テ弾戰備解除ハ別命ス
 二、大東島守備隊長
 六、第一監視哨ニ於ケル海岸、状況无、如シ
 風速八米一五米 波浪五米 視界三軒
 七、本日總員二六名、入虎五名、入室二名、練兵休四名、劇務休一名

三月十六日
晴
沖大東島
勤務

情報

- 一 通信隊 河密待機所補強作業實施
- 二 中庭上等兵以下四名浮舟修理作業終了(三月五日)二隻修理
- 三 一八三〇非常浮舟戰鬥準備完了(待機)
- 四 内川軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
- 五 第一小隊川崎軍曹以下第一監視哨ニ於テ
- 六 第二小隊本田軍曹以下第二監視哨ニ於テ
- 七 第三小隊松本伍長以下第三監視哨ニ於テ
- 八 夫々監視勤務ニ服ス
- 九 沖地区隊情報第九二號
- 十 十二時五分(三)四一機一八〇度ヨリ高度一五〇〇ヲ以テ侵入
- 十一 九〇度ニ脱去ス
- 十二 沖地区隊情報第九三號
- 十三 十八時三〇分一八〇度ヲ合五〇〇〇米敵艦機ヲ見ル

命令

- 一 沖地区隊情報第九四號
- 二 艦艇ハ敵潜水艦ニテ一八〇度ヨリ二〇〇度ニ向テ海上西進ス
- 三 六字備隊情報第三九五號
- 四 七時〇分南大東島ニ敵機二四侵入(池澤)西海岸銃爆音ヲ
- 五 守備隊情報第四〇一號
- 六 三月十六日「ケラマ」群島西方海上、輸送船「〇」敵機、合ハ
- 七 艦艇一〇〇、阿嘉島〇八時五五分上陸ヲ開始ス
- 八 渡嘉敷島三五日夕敵機遺棄セルノ如キニ其後ハ状況不明ナリ
- 九 沖地区隊命令第十九號
- 十 一本日(三)敵潜水艦一隻五千米海上二〇〇度一三〇度ヲ西進セリ
- 十一 地区隊ハ本夜半ニ於テ(三)敵機ヲ益々嚴シク監視上陸ヲ準備セントス
- 十二 各隊ハ洞窟分散シテ(三)對地密掩護ヲ方全スルニテ(三)戦士準備ヲ怠ラズ
- 十三 通信分隊ハ器材掩護ト連絡ヲ確保シテ(三)遺棄ナカラシムルニ
- 十四 五、兎玉兵曹長ハ現有兵力ヲ以テ射撃準備ヲ完了セラル

通信連絡

事項

三月三日
沖大東島
勤務

六、明朝食ハ携帶口糧ニテ使用スベシ

七、余ハニモ高地待避處ニアリ

八、守備隊情電第三〇品號

軍命ニ依リ直母作戦ニ關係テ電報發信ハ情勢ニ鑑ミ

當分、間中止セラル

九、第二監視哨ニ於テル海岸ノ状況ハ如シ

風速ニモ一〇米波浪六米 視界五軒

一〇、本日總員ニシテ名入院五名入産三名練兵休二名勤務休二名

一、頭目洞窟待機所補強作業實施

二、本山軍曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス

第三小隊中村軍曹以下九名第一監視哨ニ於テ

第三小隊内川軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ

第三小隊田川伍長以下二名第三監視哨ニ於テ

情報

夫々監視勤務ニ服ス

三、沖地区隊情電第九五號

本上時五分Bニ四一機一八〇度ノ方向ヨリ侵入偵察後三〇度
ハ脱去ス 高度五〇〇 雲量ハ 雲高五〇〇〇

四、守備隊情電第三〇九號

一、球參電第七八號ニ依リ實驗ニ依リ一〇級級爆雷ハM1

戰車底板四〇純ヲ完全ニ破壊内部人員ヲ完全ニ殲滅ス

中隊單位三〇箇至多ニ整備セラレ度

二、手榴彈ヲ以テスル一式突火管代用ハ實驗結果完全ニ手

榴雷ヲ發火セシムルヲ以テ代用セラレ度

五、沖地区隊情電第九八號

本島觀測所ヨリ無電報告(特ニ航空氣象)ハ昨日未

貴島觀測所ニ於テ感テレ 那霸觀測所ノ放送亦狀況

不良、現況ニ鑑ミ本島ヨリ氣象放送ヲ有効ナラシムル爲

通信連絡

三月十八日
晴
沖大東島
勤務
人員異動
氣象

- 一 應急便宜處置
- 二 貴島觀測所、狀況
- 三 持二南西諸島各所、周波數並ニ放送時分
詳細ニ返電ヲセテ
- 六 第三監視哨ニ於ケル海岸、狀況也、如シ
風速六米一三米波浪五米 視界一七杆
- 七 本日總員三六名、入院五名、入室二名、練兵休二名、劇務休二名
- 一〇三〇 非常呼集待機所ニ於テ待機
- 二 頭取品 洞窟待機準備作業實施
- 三 二二〇〇 陸海軍及部外幹部集合、隊長ヲ陸上戰鬥
指導方針ニシテ説明アリ
- 四 出口軍曹以下七名、地区隊衛兵勤務ニ服ス
- 第一小隊 杉本兵長以下九名、第一監視哨ニ於テ

情報

- 第二小隊 增山軍曹以下九名、第二監視哨ニ於テ
- 第三小隊 田川伍長以下二名、第三監視哨ニ於テ
- 夫々監視勤務ニ服ス
- 五 沖地区隊情報第九六號
九時十七分、九〇度、方向ニ大型機ヲレキモノ、爆音ヲ聞ク
沖地区隊情報第九七號
本島時三十分、カラマレ一機、三三〇度ヨリ、高度二〇〇以下
侵入ニ同施回偵察、後三三〇度ニ脱去ス
- 六 守備隊速報
二十八日 機動部隊報
〇〇五六 南大東島 二〇〇度一五杆 戰艦ヲ含ハ機動部
隊五一口隻進行方向一八〇度
守備隊情報第四〇八號
二二時五〇分 南大東島 二〇〇一七〇度 小艦艇數隻水際